

慶雲寺報

NEWS

* 震災慰霊行脚@気仙沼/石巻

宮城県曹洞宗青年会の修行仲間からお声掛けいただき、7/28に気仙沼・9/15に石巻の各市街地へ、お経を唱えながらの慰霊行脚に副住職が参加してきました。

7月末はもとより、9月半ばでも暑さの残る中で、津波で身内や知り合いを亡くされた方々が、行く先々でお待ちになつており、立ち止まってお経一卷をお供えするたび、うつむき加減で手を合わせている姿に大きく心打られました。

◎平成二十四年度

初徳米献供功德主

為 当在先祖代々報恩感謝

- 渡辺 美郎 殿(北ノ内)
 - 中里 千司 殿(天王原)
 - 田中 繁 殿(町田)
 - 齋藤 泰久 殿(新谷)
 - 齋藤 信夫 殿(新谷)
 - 齋藤 宏行 殿(町田)
 - 齋藤 千力子 殿(久部)
- 十一月一日現在
献供順

ご先祖様から受け継いだ田んぼで取れた新米をお供えいただきました。心を込めて炊き上げ、功德主の皆様の想いを込めて、本尊様に朝のお仏餉としてお供えいたしました。

*【募集】栃木県曹洞宗青年会 撰心会

副住職が現在会長職を務めている栃木県曹洞宗青年会では、毎年12月、一般の方々と共に坐禅に親しむ撰心会(せっしんえ)を企画しております。撰心会とは、お釈迦さまがお悟りを得られた12月8日にちなみ、12月上旬のこの期間、坐禅三昧の修行に励むことをいいます。

おかげさまで、毎年延べ150名を超える皆様と、お釈迦さまより伝わる坐禅を通じて心を解き放つた静寂な時間を過ごして参りました。

特に本年度は、住職の生まれた寺である

矢板市館ノ川

長興寺(ちょうこうじ)が

12/8(土)の会場となっております

県内の青年僧侶と一緒に、凛とした空気の中で自己を見つめてみませんか?日々の慌ただしさの中で自己を見つめる最良の時間...多くの方と分かち合えたら幸いです。

日程と会場は、左記の通りとなっております。詳しくはHPのチラシをご覧ください。



21時解散予定

(部分参加も)

歓迎します)

参加費500円/回

お申し込みは、

慶雲寺へお電話を

◎伝道掲示板から

お悟りを開いたお釈迦さまを詠んだ御詠歌
あけほしああくじよひよ
明けの星仰ぐ心は人の世の

光となりて天地に満つ

天の

恵みは

求めぬ前

に与えられている

説かれました。その教えは現在、曹洞宗の坐禅の姿として伝わっております。いくらでも思いつがままに生きられる己(おのれ)の手綱さばきをするのは、自分自身にほかなりません。

あの震災からすでに1年半が経過しました。発災当時に揺さぶられた私たちの価値観:日頃気に留めないことを思い知らされたあの時を、あたり前が一番尊いというあの思いを、時間が経つた今日でも決して忘れてはならないと思います。

心平らかな人に、安らぎは訪れています。

◎山門大施食会が行われます

さんもんたいせじきえ

別紙案内の通り、十一月十六日(水)午後1時半より、年に1度の慶雲寺施食会(せじきえ)法要が営まれます。檀信徒各家の先祖供養のこの日、お時間お繰り合わせいただき、お参りのうえお塔婆をお受けください。